

令和 4 年度

中山間地域振興に関する施策の実施状況

上 越 市

上越市中山間地域振興基本条例に基づく取組方針に係る事業一覧

○「施行区域」欄の「全域」とは、上越市中山間地域振興基本条例における中山間地域をいう。
 なお、中山間地域を含む全市域を対象とする事業もこの「全域」に含む。

中山間地域：金谷区、谷浜・桑取区、安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、
 中郷区、板倉区、清里区及び名立区(ただし都市計画法に規定する用途地域を除く)

1. 自然環境の保全

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|---------|----|---------|----------------------------------|--------|-----------------------|----------------------|---|--|
| 合 計 | | | | | 1,014,875 | 1,005,749 | | |
| 自然環境の保全 | 1 | 環境政策課 | (環境学習施設管理運営事業) 地球環境学校管理運営事業 | 金谷区 | 15,649 | 15,506 | ○市民の環境保全に対する理解を深めるとともに、活動の意欲を高めるため、中ノ俣の自然やそこに暮らす人々の知恵と心に触れる自然体験学習を中心に、総合的な環境学習の場を提供する。 | ○市内の小・中学生や団体の利用者等に対し、自然体験学習を中心としたプログラムを実施した。 ・プログラム利用者数:3,187人 |
| | 2 | 農政課 | (自然循環型農業推進事業) 環境保全型農業直接支払交付金 | 全域 | 52,911 | 45,128 | ○営農活動における環境負荷を軽減するため、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。 ○特別栽培農産物及び有機農産物の作付拡大に要する有機質肥料等の購入経費の一部を補助する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○環境保全型農業直接支払交付金の全体取組面積は、令和3年度に比べて増加しており、国の「みどりの食料システム戦略」で掲げる環境負荷低減に寄与した。 ・取組面積:令和3年度:648ha 令和4年度:759ha ○特別栽培農産物及び有機農産物の作付拡大に要する有機質肥料等の購入経費の一部を補助した。 ・件数:5件 ・拡大面積:32ha |
| | 3 | 農林水産整備課 | (農業用施設等維持管理費) 多面的機能支払補助金 | 全域 | 901,137 | 900,594 | ○農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域が共同で取り組む水路、農道等の保全活動を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○多面的機能支払補助金の交付により、水路や農道等の維持や農業用施設の長寿命化など地域が共同で保全活動に取り組むことにより、農地の多面的機能を発揮することができた。 ・組織数:151 ・対象農用地面積:5,420.28ha |
| | 4 | 農林水産整備課 | (市民の森管理運営費) くわどり市民の森維持管理及び運営 | 谷浜・桑取区 | 15,626 | 15,514 | ○中山間地域の水源地域の森林を市民の共有財産として捉え、市民の森として活用し、林業体験や環境学習を通じて利用者の里山保全に関する理解を深めるとともに、森林整備を進め水源涵養など森林の持つ多面的機能を向上させる。 ・くわどり市民の森 A=272ha | ○例年の木工作体験や自然観察会に加え、開園20周年を記念した市民の森フェスの開催により、利用者数が令和3年度と比較して897人増の6,454人となった。また、施設周辺の草刈りや散策コースの整備点検等、維持管理を適切に行い、安全に利用できる環境を維持した。 ・くわどり市民の森 A=272ha |
| | 5 | 農林水産整備課 | (市民の森管理運営費) あさひの里田麦ぶなの森園管理運営費 | 大島区 | 2,835 | 2,735 | ○中山間地域の水源地域の森林を市民の共有財産として捉え、市民の森として活用し、林業体験や環境学習を通じて利用者の里山保全に関する理解を深めるとともに、森林整備を進め水源涵養など森林の持つ多面的機能を向上させる。 ・あさひの里田麦ぶなの森園 A=90ha | ○施設内の草刈りやポンプ修繕等維持管理を適切に行い、自然に触れる場を提供することができた。なお、第4次上越市公の施設の適正配置計画に基づき、令和4年度をもって、市民の森としての供用を廃止した。 ・あさひの里田麦ぶなの森園 A=90ha |
| | 6 | 農林水産整備課 | (森林保育管理事業) 森林環境税関連対策事業 | 複数区 | 19,763 | 19,319 | ○林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林経営管理制度を活用して、整備が行われていない森林を集約し、森林所有者に代わって経営管理を行う。 ・対象区:大島区、吉川区、中郷区、名立区 | ○森林経営管理事業による吉川区河沢地区の間伐について、施業内容見直しに伴い目標を上回る5.1haを実施したほか、新たに3地区(大島区棚岡、中郷区二本木ほか、名立区名立大町)の経営管理権を取得することができた。 ・対象区:大島区、吉川区、中郷区、名立区 |
| | 7 | 農林水産整備課 | (林業振興補助費) 森林整備事業補助金 | 全域 | 6,954 | 6,953 | ○上越市森林整備計画の実現に向けて、より良い森林環境を保全するため、民有林の間伐や作業道整備に係る経費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○森林整備に対して国及び県と連携して支援したことで、森林所有者の負担軽減が図られ、木材生産を始めとした林業の振興を図ることができた。 ・利用間伐ほか A=34.9ha ・作業道整備 L=4,669m |

2. 市民の意識の共有化

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-----------|----|-------|--|----------|-----------------------|----------------------|--|---|
| 合 計 | | | | | 16,027 | 15,567 | | |
| 市民の意識の共有化 | 1 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 中山間地域の公益性維持の必要性に関する普及啓発 | 全域 | 0 | 0 | ○市役所木田庁舎やオーレンプラザなど市内5か所の中山間地域情報コーナーで中山間地域の魅力や価値などを市民に広く情報発信し、市民全体で中山間地域を支えることの必要性について意識を醸成する。 | ○市内5か所の既存の中山間地域情報コーナーで情報発信を行ったほか、無印良品直江津において期間限定で中山間地域情報コーナーの展示を実施した。 |
| | 2 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 中山間地域支え隊事業 | 全域 | 378 | 61 | ○企業や団体、個人に対して労力提供(ボランティア活動)を呼び掛け、地域貢献活動を通じて集落・地区において不足する労力を補完するとともに、市民全体で中山間地域の公益的機能を支えていく意識を醸成する。 | ○集落からの協力要請に応じて、草刈りや側溝清掃等の作業やイベント準備などに合計53回、延べ84団体・232人から参加していただいた。 |
| | 3 | 環境政策課 | (環境学習施設管理運営事業) 地球環境学校管理運営事業 【再掲】 | 金谷区 | 15,649 | 15,506 | ○市民の環境保全に対する理解を深めるとともに、活動の意欲を高めるため、中ノ俣の自然やそこに暮らす人々の知恵と心に触れる自然体験学習を中心に、総合的な環境学習の場を提供する。 | ○市内の小・中学生や団体の利用者等に対し、自然体験学習を中心としたプログラムを実施した。 ・プログラム利用者数:3,187人 |

3. 生活環境の向上

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-----------|----|---------|----------------------------------|----------|-----------------------|----------------------|---|---|
| 合 計 | | | | | 1,451,184 | 1,276,066 | | |
| 交通通信体系の整備 | 1 | 交通政策課 | (並行在来線対策事業) 在来鉄道の利用促進など | 全域 | 73,718 | 73,520 | <p>○地域鉄道の安全・安定輸送を維持するため、えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社の経営安定化に向け支援する。</p> <p>○地域鉄道の安全安心な運行を維持するため、エネルギー価格高騰による影響を受けているえちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社に対し、県及び沿線自治体と協調して支援する。</p> <p>※予算は市全域に係る予算額</p> | <p>○地域鉄道の安全・安定輸送を維持するため、えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社の経営安定化に向け支援した。</p> <p>○地域鉄道の安全安心な運行を維持するため、エネルギー価格高騰による影響を受けているえちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社に対し、県及び沿線自治体と協調して支援した。</p> |
| | 2 | 交通政策課 | (地域公共交通運行対策費) コミュニティバス事業 | 複数区 | 25,804 | 21,431 | <p>○市営バス路線の待合所等の維持管理や清里区市営バスの運行業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区:安塚区、大島区、牧区、頸城区、板倉区、清里区、名立区 ・待合所数:安塚区1か所、頸城区1か所、名立区10か所 <p>○住民団体が主体となった互助による輸送の取組に対して支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区:金谷区、柿崎区、三和区 <p>○デマンド交通システムを活用した予約型コミュニティバスの実証運行を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区:安塚区、牧区 | <p>○市営バス路線の待合所等の維持管理や清里区市営バスの運行業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区:安塚区、大島区、牧区、頸城区、板倉区、清里区、名立区 ・待合所数:安塚区1か所、頸城区1か所、名立区10か所 <p>○住民団体が主体となった互助による輸送の取組に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区:金谷区、三和区 <p>※柿崎区の取組について、年度中の実施を目指したが、準備に時間を要することから、実施時期が延期となった。</p> <p>○デマンド交通システムを活用した予約型コミュニティバスの実証運行を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区:安塚区、牧区 |
| | 3 | 交通政策課 | (地域公共交通運行対策費) バス運行対策費補助金 | 全域 | 421,091 | 409,337 | <p>○市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーについて、前期70系統、後期65系統の運行を維持・確保するため、バス及びタクシー事業者に補助金を交付する。</p> <p>※予算は市全域に係る予算額</p> | <p>○市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーについて、前期70系統、後期65系統の運行を維持・確保するため、バス及びタクシー事業者に補助金を交付した。</p> |
| | 4 | 交通政策課 | (鉄道駅舎等管理運営費) 鉄道駅舎等管理運営費(蒲川原区) | 蒲川原区 | 3,839 | 3,804 | <p>○ほくほく線のうらがわら駅及び虫川大杉駅における駅待合所等関連施設を維持管理する。</p> | <p>○ほくほく線のうらがわら駅及び虫川大杉駅における駅待合所等関連施設を維持管理した。</p> |
| | 5 | 交通政策課 | (鉄道駅舎等管理運営費) 鉄道駅舎等管理運営費(大島区) | 大島区 | 31,569 | 31,423 | <p>○ほくほく線のほくほく大島駅における駅待合所等関連施設の維持管理、昇降機設備の更新を行う。</p> | <p>○ほくほく線のほくほく大島駅における駅待合所等関連施設の維持管理、昇降機設備の更新を行った。</p> |
| | 6 | 地域医療推進課 | (地域バス運行事業) 地域バス運行事業 | 吉川区 | 4,106 | 3,797 | <p>○吉川区川谷地区住民の通院を支援して、医療不安の軽減を図るとともに、スクールバス等の利用が困難な地域における児童生徒の通学手段を確保する。</p> | <p>○吉川区川谷地区住民の通院を支援して、医療不安の軽減を図るとともに、スクールバス等の利用が困難な地域における児童生徒の通学手段を確保した。</p> |
| | 7 | 地域医療推進課 | (中ノ俣診療所管理運営費) 市街地への通院支援 | 金谷区 | 3,723 | 2,464 | <p>○中ノ俣・上綱子地区における地域住民の医療不安を軽減するため、毎週火曜日と金曜日に市内の医療機関への通院を支援する。</p> | <p>○中ノ俣・上綱子地区における地域住民の医療不安を軽減するため、毎週火曜日と金曜日に市内の医療機関への通院を支援した。</p> |
| | 8 | 学校教育課 | (スクールバス等運行事業) スクールバス等運行事業 | 複数区 | 130,834 | 113,868 | <p>○児童生徒の通学支援のため、スクールバス等を運行し、遠距離通学する児童生徒の安全確保と通学の負担の解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区:谷浜・桑取区、安塚区、蒲川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、名立区 | <p>○遠距離通学や風雪等で通学が困難となる児童生徒に対し、スクールバスを運行し、児童生徒の安全確保と通学の負担軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用児童数:578人(うち冬期のみ50人) ・利用生徒数:224人(うち冬期のみ47人) |
| | 9 | 学校教育課 | (小学校通学援助費) 小学校通学援助費 | 全域 | 18,560 | 16,589 | <p>○遠距離通学する児童の通学費を助成し、通学における安全の確保と保護者の負担軽減を図る。</p> <p>○特別支援学校及び市立小学校の特別支援学級に通学している児童の通学費を助成する。</p> <p>○市立小学校の児童のうち、教育的な配慮により校区外通学をしている児童の通学費を助成する。</p> <p>※予算は市全域に係る予算額</p> | <p>○遠距離通学する児童、山間地等で起伏が激しいなど、通学における負担の大きい地域の児童、教育的配慮により校区外通学している児童や特別な支援が必要な児童を対象に、補助金や定期券の交付によって通学費を助成し、通学時における安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成人数:928人 |
| | 10 | 学校教育課 | (中学校通学援助費) 中学校通学援助費 | 全域 | 24,130 | 20,929 | <p>○遠距離通学する生徒の通学費を助成し、通学における安全の確保と保護者の負担軽減を図る。</p> <p>○特別支援学校及び市立中学校の特別支援学級に通学している生徒の通学費を助成する。</p> <p>○市立中学校の生徒のうち、教育的な配慮により校区外通学をしている生徒の通学費を助成する。</p> <p>※予算は市全域に係る予算額</p> | <p>○遠距離通学する生徒、山間地等で起伏が激しいなど、通学における負担の大きい地域の生徒、教育的配慮により校区外通学している生徒や特別な支援が必要な生徒を対象に、補助金や定期券の交付によって通学費を助成し、通学時における安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成人数:604人 |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|---------|----|-----------------------|-----------------------------------|------|-----------------------|----------------------|--|---|
| 生活環境の整備 | 1 | 市民安全課 | (災害対策費) 自主防災組織の結成促進 及び活動支援 | 全域 | 4,585 | 4,494 | ○防災士養成講座や防災アドバイザーの派遣、ハザードマップ活用研修などを通じて自主防災組織の活動が活性化するように支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○防災士養成講座や防災アドバイザーの派遣、ハザードマップ活用研修などを通じて自主防災組織の活動が活性化するように支援した。 ・防災士資格取得者:59人 ・防災アドバイザーの派遣:4回 ・ハザードマップ活用研修:9回 |
| | 2 | 地域政策課 | (冬期生活安全・安心確保事業) 冬期生活安全・安心確保事業 | 複数区 | 3,780 | 1,737 | ○冬期間における中山間地域の生活環境を維持するため、集落等に委託し、生活道路の除雪や雪処理が困難な世帯の除雪等を実施する。 ・対象区等:金谷区、牧区、柿崎区、吉川区のうち6地区10集落 | ○事業を実施した集落では、除排雪作業にあわせて、高齢者世帯への声かけも行うなど、地域住民の更なる安心感の醸成につながった。 |
| | 3 | 生活支援課 | (要援護世帯除雪費助成事業) 要援護世帯除雪費助成事業 | 全域 | 72,243 | 52,604 | ○自らの力で除雪することが困難な要援護世帯への除雪作業に要する費用の一部助成を通して、冬期間における雪害事故を防止し、安心して暮らすことができるよう支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○自らの力で除雪することが困難な要援護世帯への除雪作業に要する費用の一部助成を通して、冬期間における雪害事故を防止し、安心して暮らすことができるよう支援した。 ・申請受理件数:7,119件 ・助成世帯数:2,003件 ・助成金額:50,632千円 |
| | 4 | 高齢者支援課 | (生活支援ハウス運営費) 牧高齢者等福祉センター | 牧区 | 4,228 | 4,000 | ○冬期間における自宅での生活に不安のある高齢者等に対し、共同で生活できる場を提供することにより、安心して健康的な生活を送れるよう支援する。 ・定員10室・20人 | ○ひとり暮らし高齢者等が、冬期間に安心して健康的な生活を送れるよう見守り体制の整った住居を提供し、支援を行った。 ・年間平均利用者数 10.1人 |
| | 5 | 農村振興課 (中山間地域農業対策室) | (中山間地域等活性化対策事業) 棚田地域振興事業 | 全域 | 691 | 452 | ○棚田地域振興法に基づく地域振興活動を促進するため、引き続き、地域自らが活動を計画・実施・進捗管理できる体制整備を支援するほか、新たに「棚田マップ」を作成し、既存の「棚田カード」とともに、棚田地域の情報や魅力等を積極的に発信して来訪者との交流機会の創出を図る。 | ○市内15の地区協議会の活動状況を確認し、活動計画の目標達成に向けて助言等を行った。 ○棚田地域振興活動の新規取組や取組範囲拡大の意向がある2地域に対し、地区協議会の設立や棚田地域振興活動計画の作成・変更などを支援した。 ○市内の棚田までの経路や、棚田地域の取組・見どころ、棚田カードの配布場所を記載した「棚田マップ」を新たに作成するとともに、各地域の活動状況や棚田の風景など、四季折々の情報を市ホームページに掲載した。 |
| | 6 | 農村振興課 (中山間地域農業対策室) | (中山間地域等活性化対策事業) 緊急消雪促進対策事業費補助金 | 全域 | 3,568 | 2,630 | ○消雪の遅れによる農業生産への影響を防止するため、農業者で組織する団体等が行う消雪促進対策に要する経費を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○消雪の遅れによる農業生産への影響を防止するため、農業者団体が行う消雪促進対策を支援した。 ○春先の育苗用地や耕作道の消雪作業が早期化している現状を踏まえ、補助金の交付対象を判断する基準について、従来の4月1日時点に加え、新たに3月15日時点を設け、3月中に実施する必要がある消雪作業の支援を市独自事業として制度化し、とりわけ積雪量が多い山間部を中心に支援した。 ・令和4年4月実施分 育苗用地の機械除雪 補助率 市1/2 件数 17件 事業量 A=3.1ha 育苗用地までの耕作道の機械除雪 補助率 市定額 件数 5件 事業量 L=0.9km 水稲本田までの耕作道の機械除雪 補助率 市1/2 件数 10件 事業量 L=30.1km ・令和5年3月実施分(拡充) 育苗用地の機械除雪 補助率 市1/2 件数 5件 事業量 A=1.0ha 育苗用地までの耕作道の機械除雪 補助率 市定額 件数 2件 事業量 L=0.2km |
| | 7 | 道路課 | (道路維持費) 緊急自然災害防止対策事業 | 複数区 | 105,710 | 51,139 | ○市道の法面対策工事等を実施し、災害の発生予防や被害の拡大防止を図る。 ・対象区(3区9路線) 安塚区 東頸城幹線ほか1路線 蒲川原区 川南線ほか2路線 牧区 牧飯山線ほか3路線 | ○市道の法面対策工事等を実施し、災害の発生予防や被害の拡大防止を図る。 ・対象区(3区9路線) 安塚区 東頸城幹線ほか1路線 蒲川原区 川南線ほか2路線 牧区 牧飯山線ほか3路線 |
| | 8 | 道路課 | (道路整備事業) 馬正面川井線 | 柿崎区 | 26,037 | 24,380 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、狭隘道路の道路改良を行い、市民の生活環境の向上を図る。 ・橋梁架け替え負担金 一式 ・用地買収、物件補償 一式 ※予算の一部をR5へ繰越(1,657千円) | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、狭隘道路の道路改良を行い、市民の生活環境の向上を図った。 ・橋梁架け替え負担金 一式 ・用地買収、物件補償 一式 |
| | 9 | 道路課 | (道路整備事業) 栢窪線 | 柿崎区 | 4,269 | 4,269 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・側溝改良 L=80m W=0.3m | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図った。 ・側溝改良 L=78m W=0.3m ・物件補償 一式 |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|---------|---------|-------------------------|------------------------|----------|-----------------------|---|--|---|
| 生活環境の整備 | 10 | 道路課 | (道路整備事業) 高山線 | 柿崎区 | 2,457 | 2,457 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・測量設計一式 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図った。 ・測量設計一式 ・土質調査 N=1箇所 |
| | 11 | 道路課 | (道路整備事業) 馬正面上下浜線ほか | 柿崎区 | 33,503 | 33,503 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・側溝改良 L=290m W=0.3m ・物件補償一式 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図った。 ・側溝改良 L=360m W=0.3m ・物件補償一式 |
| | 12 | 道路課 | (道路整備事業) 江端岡川線 | 中郷区 | 7,048 | 7,048 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・側溝改良 L=133m W=0.3m | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図った。 ・側溝改良 L=129m W=0.3m |
| | 13 | 道路課 | (道路整備事業) 機織久々野線 | 板倉区 | 5,569 | 5,569 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・側溝改良 L=135m W=0.3m | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図った。 ・側溝改良 L=135m W=0.3m |
| | 14 | 道路課 | (道路整備事業) 四ツ屋上深沢線 | 清里区 | 14,926 | 14,926 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、交通安全施設工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・交通安全施設 L=294m | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、交通安全施設工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図った。 ・交通安全施設 L=266m |
| | 15 | 道路課 | (道路整備事業) 伝上コブケ線 | 名立区 | 3,861 | 3,861 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・側溝改良 L=68m W=0.3m ・物件補償一式 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図った。 ・側溝改良 L=67m W=0.3m |
| | 16 | 道路課 | (道路整備事業) 丸田中央甲線 | 名立区 | 3,276 | 0 | ○「上越市道路整備計画」に基づき、生活道路の整備を計画的に推進するため、側溝改良工事を行い、歩行者空間の確保と生活環境の向上を図る。 ・測量設計一式 | ○工事箇所の再検討に時間を要したため、予算の全部を令和5年度へ繰越(3,276千円)したことから、支出なし。 |
| | 17 | 道路課 (雪対策室) | (消融雪施設管理費) 消融雪施設管理費 | 複数区 | 49,991 | 49,991 | ○消融雪施設の老朽化が進んでいるため、消雪パイプの更新や井戸の掘削などを行う。 ・対象区 板倉区(山越村中線) 清里区(南田中線) | ○消融雪施設の老朽化が進んでいる消雪パイプや井戸を更新した。 【内訳】 ・板倉区(山越村中線) 消雪井戸更新1基 ・清里区(南田中線) 消雪パイプ更新 L=349m |
| | 18 | 道路課 (雪対策室) | (除雪費) 道路除雪管理システム | 全域 | 17,334 | 17,334 | ○GPS端末を活用した道路除雪管理システムにより効率的な除雪に努める。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○GPS端末を活用した道路除雪管理システムにより、除雪作業車の位置や時間等を把握し、効率的な除雪を実施した。 ・GPS端末(予備含む):496台 |
| | 19 | 道路課 (雪対策室) | (除雪費) 小型除雪機購入費補助事業 | 全域 | 1,726 | 1,726 | ○除雪車の入ることができない狭い道路や、高齢者が住む家の前を、地域の住民が協力して除雪するために小型除雪機を購入する際の費用の一部を補助し、冬期間における市民生活の安全・安心を確保する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○冬期間の道路交通及び安全で安心な市民生活を確保するため、小型除雪機を整備する団体に費用の一部を補助した。 ・補助団体数:3件 |
| 20 | 河川海岸砂防課 | (河川管理費) 緊急自然災害防止対策事業 | 複数区 | 31,088 | 24,490 | ○河川構造物の洗掘防止対策工事を実施し、災害の発生予防、拡大防止を図る。 ・対象区:谷浜・桑取区、浦川原区、大島区、板倉区、名立区 ・実施内容 災害防止対策工事 | ○災害防止対策工事 8件 【内訳】 谷浜・桑取区1件、浦川原区3件、大島区1件、板倉区2件、名立区1件 ○測量設計 2件 【内訳】 浦川原区2件 | |
| 21 | 河川海岸砂防課 | (砂防事業費) 地すべり巡視業務 | 複数区 | 10,883 | 10,877 | ○新潟県地すべり巡視業務委託要領に基づき、地すべり発生危険性が高い区域において、地すべり巡視員による巡視活動を行い、地すべりの兆候や土砂の崩落を早期に発見し、土砂災害を未然に防止する。 ・対象区:金谷区、谷浜・桑取区、安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、板倉区、清里区、名立区 | ○地すべり巡視業務一式 【地区別内訳】 金谷区、谷浜・桑取区、安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、板倉区、清里区、名立区 | |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|---------|----------|---------|---|----------------------------|-----------------------|----------------------|--|---|
| 生活環境の整備 | 22 | 河川海岸砂防課 | (砂防事業費) 急傾斜地崩壊対策事業 | 中郷区 | 2,000 | 804 | ○中郷区藤沢地内において、県が事業主体となり実施する急傾斜地崩壊対策事業に対して、市が事業費の一部を負担金として支出する。 ・用地補償 一式 ・用地測量 一式 | ○急傾斜地崩壊対策事業負担金 ・用地補償 一式 ・用地測量 一式 |
| | 23 | 建築住宅課 | (克雪住宅推進費) 克雪すまいづくり支援事業 | 全域 | 9,350 | 8,798 | ○雪下ろしに伴う負担軽減及び危険を防止し、住環境の改善等を図るため、大潟区及び頸城区を除く地域の克雪住宅の整備等に要する経費の一部を補助する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○雪下ろしに伴う負担軽減及び危険を防止し、住環境の改善等を図るため、克雪住宅の整備等を支援した。 ・交付件数:30件 合併前上越市:27件 清里区:1件 三和区:2件 |
| | 24 | 建築住宅課 | (克雪住宅推進費) 屋根雪下ろし命綱固定アンカー等設置費補助金 | 全域 | 6,000 | 5,701 | ○住宅等の屋根雪下ろしにおける転落事故の防止のため、命綱固定アンカー等の設置に係る費用の一部を補助する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○住宅等の屋根雪下ろしにおける転落事故の防止のため、命綱固定アンカー等の設置を支援した。 ・交付件数:72件 合併前上越市:14件 安塚区:5件 浦川原区:11件 大島区:30件 牧区:4件 中郷区:6件 板倉区:1件 三和区:1件 |
| | 25 | 下水道建設課 | (特定環境保全公共下水道汚水連携事業) 浦川原特定環境保全公共下水道汚水連携事業(管渠) | 安塚区 | 31,863 | 31,863 | ○汚水処理を効率化し、維持管理費を削減するため、農業集落排水施設と公共下水道を統合する。 ・施工監理業務委託 一式 ・圧送ポンプ設置工事 一式 | ○汚水処理を効率化し、維持管理費を削減するため、農業集落排水施設と公共下水道を統合した。 ・施工監理業務委託 一式 ・圧送ポンプ設置工事 一式 |
| | 健康・福祉の促進 | 1 | 地域医療推進課 | (地域バス運行事業) 地域バス運行事業【再掲】 | 吉川区 | 4,106 | 3,797 | ○吉川区川谷地区住民の通院を支援して、医療不安の軽減を図るとともに、スクールバス等の利用が困難な地域における児童生徒の通学手段を確保する。 |
| 2 | | 地域医療推進課 | (中ノ俣診療所管理運営費) 市街地への通院支援【再掲】 | 金谷区 | 3,723 | 2,464 | ○中ノ俣・上綱子地区における地域住民の医療不安を軽減するため、毎週火曜日と金曜日に市内の医療機関への通院を支援する。 | ○中ノ俣・上綱子地区における地域住民の医療不安を軽減するため、毎週火曜日と金曜日に市内の医療機関への通院を支援した。 |
| 3 | | 生活支援課 | (要援護世帯除雪費助成事業) 要援護世帯除雪費助成事業【再掲】 | 全域 | 72,243 | 52,604 | ○自らの力で除雪することが困難な要援護世帯への除雪作業に要する費用の一部助成を通して、冬期間における雪害事故を防止し、安心して暮らすことができるよう支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○自らの力で除雪することが困難な要援護世帯への除雪作業に要する費用の一部助成を通して、冬期間における雪害事故を防止し、安心して暮らすことができるよう支援した。 ・申請受理件数:7,119件 ・助成世帯数:2,003件 ・助成金額:50,632千円 |
| 4 | | 高齢者支援課 | (生活支援ハウス運営費) 牧高齢者等福祉センター【再掲】 | 牧区 | 4,228 | 4,000 | ○冬期間における自宅での生活に不安のある高齢者等に対し、共同で生活できる場を提供することにより、安心して健康的な生活を送れるよう支援する。 ・定員10室・20人 | ○ひとり暮らし高齢者等が、冬期間に安心して健康的な生活を送れるよう見守り体制の整った住居を提供し、支援を行った。 ・年間平均利用者数:10.1人 |
| 教育の振興 | 1 | 学校教育課 | (スクールバス等運行事業) スクールバス等運行事業【再掲】 | 複数区 | 130,834 | 113,868 | ○児童生徒の通学支援のため、スクールバス等運行し、遠距離通学する児童生徒の安全確保と通学の負担の解消を図る。 ・対象区:谷浜・桑取区、安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、名立区 | ○遠距離通学や風雪等で通学が困難となる児童生徒に対し、スクールバスを運行し、児童生徒の安全確保と通学の負担軽減を図った。 ・利用児童数:578人(うち冬期のみ50人) ・利用生徒数:224人(うち冬期のみ47人) |
| | 2 | 学校教育課 | (小学校通学援助費) 小学校通学援助費【再掲】 | 全域 | 18,560 | 16,589 | ○遠距離通学する児童の通学費を助成し、通学における安全の確保と保護者の負担軽減を図る。 ○特別支援学校及び市立小学校の特別支援学級に通学している児童の通学費を助成する。 ○市立小学校の児童のうち、教育的な配慮により校区外通学をしている児童の通学費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○遠距離通学する児童、山間地等で起伏が激しいなど、通学における負担の大きい地域の児童、教育的配慮により校区外通学している児童や特別な支援が必要な児童を対象に、補助金や定期券の交付によって通学費を助成し、通学時における安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図った。 ・助成人数:928人 |
| | 3 | 学校教育課 | (中学校通学援助費) 中学校通学援助費【再掲】 | 全域 | 24,130 | 20,929 | ○遠距離通学する生徒の通学費を助成し、通学における安全の確保と保護者の負担軽減を図る。 ○特別支援学校及び市立中学校の特別支援学級に通学している生徒の通学費を助成する。 ○市立中学校の生徒のうち、教育的な配慮により校区外通学をしている生徒の通学費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○遠距離通学する生徒、山間地等で起伏が激しいなど、通学における負担の大きい地域の生徒、教育的配慮により校区外通学している生徒や特別な支援が必要な生徒を対象に、補助金や定期券の交付によって通学費を助成し、通学時における安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図った。 ・助成人数:604人 |

4. 産業の振興

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|----|-------|--|----------|-----------------------|----------------------|--|--|
| 合 計 | | | | | 1,917,617 | 1,889,883 | | |
| 産業の振興 | 1 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 特定地域づくり事業協同 組合事業 | 清里区 | 8,965 | 6,191 | ○国の特定地域づくり事業協同組合制度を活用して清里区の農業法人等が設立する労働者派遣事業を行う組合に対し、支援を行うことで、年間を通じた仕事と新たな雇用を創出し、地域の担い手を確保する。 | ○清里区の農業法人等が設立する星の清里協同組合の運営を支援するため、派遣職員人件費及び事業協同組合の事務局運営に要する経費の一部を支援した。 |
| | 2 | 農政課 | (自然循環型農業推進事業) 安全・安心な環境に配慮した米づくり推進事業 | 全域 | 570 | 97 | ○化学肥料及び化学合成農薬を低減する環境保全型農業直接支払交付金制度の取組拡大と、農家所得の安定確保を図るため、有機農産物の販売に必要な有機JAS認証の取得及び農業生産工程の適正管理を証する国際水準GAP認証の取得に係る経費を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○有機JAS認証取得事業補助金の認証に係る経費を支援したことにより、有機栽培の取組面積の拡大につながるなど、安全・安心な農産物の生産活動を推進した。 ・件数:2件 ・拡大面積:0.7ha ※国際水準GAP認証の取得等の補助申請はなかった。 |
| | 3 | 農政課 | (自然循環型農業推進事業) 環境保全型農業直接支払交付金 【再掲】 | 全域 | 52,911 | 45,128 | ○営農活動における環境負荷を軽減するため、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以下低減する取組と併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。 ○特別栽培農産物及び有機農産物の作付拡大に要する有機質肥料等の購入経費の一部を補助する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○環境保全型農業直接支払交付金の全体取組面積は、令和3年度に比べて増加しており、国の「みどりの食料システム戦略」で掲げる環境負荷低減に寄与した。 ・取組面積:令和3年度:648ha 令和4年度:759ha ○特別栽培農産物及び有機農産物の作付拡大に要する有機質肥料等の購入経費の一部を補助した。 ・件数:5件 ・拡大面積:32ha |
| | 4 | 農政課 | (園芸振興事業) 農林県単事業費補助金 (園芸振興) | 柿崎区 | 5,050 | 5,050 | ○園芸作物の生産拡大や生産コストの低減を図るため、認定農業者が行う施設整備や機械整備に要する経費を支援する。 | ○園芸生産に必要な施設等の導入を支援したことで、園芸生産の拡大が図られた。 ・事業内容:パイプハウス1棟(464.4㎡) いちご高設栽培設備1式 |
| | 5 | 農政課 | (水田農業推進事業) 先進的スマート農業タウン 推進事業 | 全域 | 288 | 61 | ○生産コストの低減による持続可能な農業の実現と経験や習熟度に頼らない農業を推進し上越市農業の魅力を上昇させるため、スマート農機の普及・啓発活動としてスマート農機の展示フィールドを市内全域に設置LPRを行うほか、体験会を開催する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○様々なスマート農機の展示フィールドとして、令和3年度に開設した8か所に加え、新たに2か所を設置するとともに農業者がスマート農業技術に触れる機会となる実演見学会を2回開催した。 ○課内にスマート農業の相談窓口を開設したほか、スマート農機による作業の様子を動画サイト(YouTube)で紹介した。 |
| | 6 | 農政課 | (水田農業推進事業) 情報通信環境整備対策 事業 | 清里区 | 2,000 | 2,000 | ○通信環境が脆弱な中山間地域において、平野部と同様にICTを活用した営農が行えるように環境を整備するため、清里区をモデル地区に選定し、農業用水利施設等のインフラ管理や鳥獣捕獲の異センサーの設置などに必要な情報通信基地局等の整備に向けた調査を行う。 | ○地元農業者等を対象にワークショップを開催し、自動給水栓の実演会や先進地事例を学ぶことにより、施設整備に向けた課題やニーズを整理するとともに、中山間地域でも効率的に使用できる無線通信規格を調査・試験し、令和5年度の実施計画の策定に向けた基礎情報を収集した。 ※予算の一部を令和5年度へ繰越(1,579千円) |
| | 7 | 農政課 | (担い手育成確保支援事業) 新規就農者育成総合対策 事業 | 全域 | 0 | 0 | ○地域農業の担い手不足解消に向けて、農業への人材の呼び込みと定着を図るため、新たに農業経営を開始する新規就農者(親元就農を含む)に対して、経営発展のための機械・施設等の導入経費や経営開始時の資金を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○要件を満たす対象者がいなかったため、活用なし。 |
| | 8 | 農政課 | (担い手育成確保支援事業) 上越市担い手育成総合 支援協議会支援事業費 補助金 | 全域 | 10,759 | 9,485 | ○米価の低迷や産地間競争に対応できる強い経営体の育成と新規就農者の確保・育成を図るため、関係機関で構成する上越市担い手育成総合支援協議会が行う、認定農業者を始めとする担い手の確保・育成や、新規就農者の農地の確保と営農技術習得のサポート及び集落営農の推進、農業法人の設立や法人間連携等に向けた取組に要する経費を支援する。 ○新規就農希望者を当市に呼び込む広報活動や就農相談などの入り口対策と、新規就農者の就農準備、就農、就農後の定着支援を総合的に支援するため、同協議会の2人のコーディネーターに加え、新たに経営継承コーディネーター1人を配置する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○令和4年度から新たに経営継承コーディネーターを設置し、就農相談から就農後の営農指導を一貫して支援するサポート体制の強化を図り、おためし農業体験や就農イベントへの参加等により、年間23人の新規就農につながることであった。担い手コーディネーターより、認定農業者の新規・再認定への農業経営改善計画の作成に関する指導を行ったほか、持続可能な経営体の育成のため、県や農協と協力して研修会を行った。また、農業法人の法人間連携に向けた話し合いに参加し、指導・助言を行った。 |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|-------|---------------------------|------------------------------------|----------|-----------------------|---|--|---|
| 産業の振興 | 9 | 農政課 | (担い手育成確保支援事業) 農業次世代人材投資事業 | 全域 | 6,948 | 5,471 | ○次代の農業を担う農業者の就農後の定着を支援し、担い手の育成を図るため、新規就農者に就農直後(5年以内)の経営確立に資する資金を交付する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○就農直後(5年以内)の経営確立に資する資金を交付した。 ・継続者:5人 |
| | 10 | 農政課 | (担い手育成確保支援事業) 新規就農者等定住転入促進事業 | 全域 | 9,673 | 7,333 | ○次代の農業を担う人材の確保と育成を図るため、新規就農希望者の「おためし農業体験」への参加経費や、新規就農者の資格取得費、機械購入経費、空き家リフォーム費用等を支援するほか、年齢が国の補助対象外となる新規就農者を雇用した農業法人等や、新規就農者の受入れに向けて、地域を挙げたサポート体制づくりに取り組む団体を支援する。 ○新規就農先として当市が選ばれたよう、農業求人サイトを活用し、「上越市の農業」の魅力を紹介するとともに、農業施策だけでなく、子育て施策など当市での生活や暮らしに関する情報発信を行う。 ○国県の支援制度の対象外である50歳以上66歳未満の新規就業者を新たに雇用する中山間地域の農業法人等に対して、最長4年間(単年当たり最大600千円)、雇用に必要な経費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○次代の農業を担う人材の確保と育成を図るため、おためし農業体験や新規就農者への支援を行った。 ・農業用機械購入費補助:4件 ・農業法人雇用支援事業:4件 ・おためし農業体験 交通費補助:17件 宿泊費補助:18件 ・大型特殊免許等取得費補助:3件 ・住居費補助:3件 ○農業求人サイトを活用し、上越の農業等のPRを行い、広く周知を図った。 |
| | 11 | 農政課 | (担い手育成確保支援事業) 農林県単事業費補助金(担い手育成) | 清里区 | 11,358 | 11,086 | ○農地所有適格法人が中山間地域農業や農地を維持する取組に必要な機械の整備に要する経費を支援する。 | ○機械整備の補助を行うことで、地域全体の安定的な営農体制づくりへの支援を行った。 導入機械 ・ラジコン草刈り機:4台 ・産業用マルチローター:1台 |
| | 12 | 農村振興課 | (アグリビジネス創出支援事業) 6次産業化支援事業 | 全域 | 1,257 | 1,228 | ○農業者等の所得向上を図るため、加工や販売を通じて農産物等の付加価値を高める6次産業化の取組に必要な経費を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○農産加工に必要な機械・設備の導入及び改修に要する経費の一部を支援した。 ・申請件数:3件 ○農業者等自らによる6次産業化の取組のほか、多様な分野と連携した取組についても広がりを見せている中、農林水産物の魅力を磨き新たな付加価値を生み出すこと等により、農業者の所得向上を推進していく必要があるため、令和4年度をもって戦略期間が満了する上越市6次産業化推進戦略の改訂を行った。 |
| | 13 | 農村振興課 | (農産物販売促進事業) 積極的な地場農産物の販売促進事業 | 全域 | 7,581 | 6,649 | ○農業者等の所得向上を図るため、当市の優れた農林水産物等の効果的な販売促進活動を実施する。 ○中山間地域の農業者を対象に、中山間地域の資源をいかした農産物等におけるマーケティングについて学ぶ研修会を開催する。 ○農林水産物等の販売力を強化するため、新たに農業者等を対象にマーケティングや自主販売等に関する講座を開催するとともに、農業者等が行う営業活動や広告宣伝等の販売促進に向けた取組への支援を強化する。(農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金制度の創設) ○上記支援事業は市全域を対象としているが、中山間地域は平野部に比べ、営農条件が厳しいことから、中山間地域における営農の継続に向け、補助率や補助限度額の増額など補助内容を拡充する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○需要に即した農産物の生産とともに、市内流通の促進と定着を図るほか、効果的なPR活動を促し、農産物等の販売促進につなげるため、以下の取組を実施した。 ・じょうえつ農の魅力発信×農場見学ツアー・商談会 参加者:農業者19人、食品関連事業者17人 ・全国の消費者と生産者をつなぐオンライン交流会 参加者:生産者4団体、消費者6組 ・農産物情報発信講習会の開催 参加者:25人 ○農産物等の販売促進活動実績がある専門家を講師に招き、マーケティングの視点から売れる農産物等をつくる手法を学ぶほか、市内農業者から中山間地域における高付加価値化の取組の紹介など、農産物等の販売強化に向け、農産物販売強化研修会を開催した。 ・参加者:54人 ○市場動向に左右されにくい、販売力を有する農業者等を育成するため、農林水産物等マーケティング活動支援事業を実施した。 ・農林水産物等マーケティング活動実践塾 参加者:11事業者 ・農林水産物等マーケティング活動個別相談会 相談者:14事業者(延べ) ・農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金 申請者:27件 |
| 14 | 農村振興課 | (農産物販売促進事業) 都市生協との連携事業 | 複数区 | 1,126 | 691 | ○産地の知名度向上と信頼性を確保し、当市の安全・安心な農産物の販売促進を図るため、都市生協組合員と生産者とが顔の見える関係を維持できるようオンラインを含めた産地交流事業を実施する。 ・対象区:谷浜・桑取区、吉川区、名立区 | ○新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から中止していた産地交流事業について、感染症対策を実施しながら、9月から再開したほか、東京へ出向いて行う交流事業についても、棚田米の生産者を講師として棚田米の栽培方法等についての学習会を開催した。 ・参加者数:20組、43人 ○よしかわ杜氏の郷や生産者と都市生協組合員との「オンライン交流会」を3回開催し、日本酒の味比べセットや棚田米など都市生協で取り扱っている当市の商品について、画像を用いて商品の情報や生産現場の四季の風景や作業の様子などを参加者に紹介し、顔の見える関係を維持することができた。 ・参加者数:35組、42人 | |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|----|-------------------------------|---|----------|-----------------------|----------------------|---|---|
| 産業の振興 | 15 | 農村振興課 (中山間地 域農業対策 室) | (中山間地域等活性化 対策事業) 中山間地域元気な農業 づくり推進事業 | 全域 | 6,882 | 5,948 | ○中山間地域農業の維持・振興を図る ため、地域とともに話し合いを進め、農地 や地域農業の将来像を明確にし、その 実現に向けて支援していくほか、元気な 農業づくり推進員等を引き続き配置し、 地域マネジメント組織や農業者等へのき め細かな指導・助言を積極的に展開す る。 | ○農業の専門的な知識を有する中山間 地域元気な農業づくり推進員等が積極 的に地域に入り、生産組織や農業者等 へのきめ細かな指導、助言を行った。 ○幅広い世代の農業関係者が参画する ワークショップを8つの地域自治区で開 催し、それぞれの地域における将来の農 地利用や地域農業の方向性を「将来ビ ジョン」として定めた。 ・実施地区:谷浜・桑取区、安塚区、浦川 原区、大島区、牧区、吉川区、板倉区及び 名立区 ・開催回数:延べ40回(令和3年度から延 べ46回) ・参加人数:延べ607人(令和3年度から 延べ1,110人) |
| | 16 | 農村振興課 (中山間地 域農業対策 室) | (中山間地域等活性化 対策事業) 棚田地域振興事業 【再掲】 | 全域 | 691 | 452 | ○棚田地域振興法に基づく地域振興活 動を促進するため、引き続き、地域自らが 活動を計画・実施・進捗管理できる体制 整備を支援するほか、新たに「棚田マッ プ」を作成し、既存の「棚田カード」とも に、棚田地域の情報や魅力等を積極的 に発信して来訪者との交流機会の創出 を図る。 | ○市内15の地区協議会の活動状況を確 認し、活動計画の目標達成に向けて助 言等を行った。 ○棚田地域振興活動の新規取組や取 組範囲拡大の意向がある2地域に対し、 地区協議会の設立や棚田地域振興活 動計画の作成・変更などを支援した。 ○市内の棚田までの経路や、棚田地域 の取組・見どころ、棚田カードの配布場 所を記載した「棚田マップ」を新たに作成 するとともに、各地域の活動状況や棚田 の風景など、四季折々の情報を市ホーム ページに掲載した。 |
| | 17 | 農村振興課 (中山間地 域農業対策 室) | (中山間地域等活性化 対策事業) 農林県単事業費補助金 | 清里区 | 11,720 | 11,350 | ○中山間地域における生産体制の整備 や持続的営農体制の構築に向けた取組 を推進するため、農業者等が行う施設整 備や機械整備に要する経費を支援する。 | ○地域の生産体制整備に向けた農業機 械の整備に要する経費を支援した。 ○補助率 県1/3 ○事業主体及び事業内容 ・農地所有適格法人(清里区) トラクター1台、ロータリー1台、ウイング ハロー1台 ・農地所有適格法人(清里区) 乾燥機2台、石拔機1台、フレコン計量ユ ニット1台 |
| | 18 | 農村振興課 (中山間地 域農業対策 室) | (中山間地域等活性化 対策事業) 緊急消雪促進対策事業 費補助金 【再掲】 | 全域 | 3,568 | 2,630 | ○消雪の遅れによる農業生産への影響 を防止するため、農業者で組織する団体 等が行う消雪促進対策に要する経費を 支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○消雪の遅れによる農業生産への影響 を防止するため、農業者団体が行う消雪 促進対策を支援した。 ○春先の育苗用地や耕作道の消雪作 業が早期化している現状を踏まえ、補助 金の交付対象を判断する基準につい て、従来の4月1日時点に加え、新たに3 月15日時点を設け、3月中に実施する必 要がある消雪作業の支援を市独自事業 として制度化し、とりわけ積雪量が多い 山間部を中心に支援した。 ・令和4年4月実施分 育苗用地の機械除雪 補助率 市1/2 件数 17件 事業量 A=3.1ha 育苗用地までの耕作道の機械除雪 補助率 市定額 件数 5件 事業量 L=0.9km 水稲本田までの耕作道の機械除雪 補助率 市1/2 件数 10件 事業量 L=30.1km ・令和5年3月実施分(拡充) 育苗用地の機械除雪 補助率 市1/2 件数 5件 事業量 A=1.0ha 育苗用地までの耕作道の機械除雪 補助率 市定額 件数 2件 事業量 L=0.2km |
| | 19 | 農村振興課 (中山間地 域農業対策 室) | (中山間地域等活性化 対策事業) 中山間地域振興作物生 産拡大事業 | 全域 | 3,965 | 3,286 | ○農地の保全と農業生産活動を維持す るため、水稲の作付けが困難となった農 地に、山菜やそばなどの振興作物を継 続して栽培する農業者等に対し、必要 な経費を支援する。 | ○水稲の作付けが困難となった農地 に、そばや山菜など地域に見合った振 興作物の栽培を始める農業者等を支援 し、農業生産活動の維持と農地の保全 を図った。 ・事業主体:認定農業者、農業者3戸 以上で組織する団体等(8団体) ・補助対象経費:農地の再生作業 (排水対策、深耕等)、営農定着(営 農資機材の調達等)及び種苗の購入に 要する経費 ・補助額:①再生・営農定着作業: 経費の実費相当額(上限 75千円 /10a) ②苗購入費:経費の実費 相当額(上限100千円/10a) ③種 苗購入費:経費の実費相当額(上限8 千円/10a) ・実施面積:そば5.6ha、山菜0.1ha 計5.7ha |
| | 20 | 農村振興課 (中山間地 域農業対策 室) | (中山間地域等活性化 対策事業) 中山間地域等直接支払 交付金 | 全域 | 602,604 | 602,037 | ○荒廃農地の発生防止と農業が有する 多面的機能の増進を図るため、中山間 地域等直接支払交付金の集落協定等 が行う農業生産活動や共同取組活動な どを支援する。 ○第5期対策から拡充された生産性向 上加算等の加算措置を積極的に活用す るため、地域への提案や指導・助言な どのサポートを行う。 | ○農業者等との間で締結された取決め (協定)に基づき、農業生産活動や農道・ 水路の維持管理などの共同取組活動 を行う集落等を支援した。 ・協定数:86協定 (集落協定72、個別協定14) ・協定面積:2,683ha ・交付金額:587,892千円 |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|----|-------------------------------|--|----------|-----------------------|----------------------|---|--|
| 産業の振興 | 21 | 農村振興課 (中山間地 域農業対策 室) | (農作物鳥獣被害防止 対策事業) 農作物鳥獣被害防止対 策事業 | 全域 | 10,061 | 9,696 | ○イノシシ等への鳥獣被害対策をより一 層強化するため、令和3年度に実施した 試行事業の効果検証を踏まえ、「鳥獣が 出没しにくい環境づくり」及び「農作物被 害調査」を本格実施するとともに、新たに ICTやドローン技術等を活用した「スマ ート捕獲」を試行する。 ○捕獲の担い手である猟友会会員の世 交代を見据え、若年層を中心に新しい 人材を確保・育成し、持続可能な捕獲体 制の維持・強化を図るため、猟友会が行 うイノシシの捕獲活動に対する支援を拡 充する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○上越市鳥獣被害防止対策協議会と連 携し、「鳥獣が出没しにくい環境づくり」 及び「農作物被害調査」を本格実施する とともに、ICTやドローン技術等を活用 した「スマート捕獲」の実証に着手し、捕 獲活動における労力負担の軽減と、より効 果的な捕獲活動の効果を確認した。 ○猟友会が行うイノシシの捕獲活動に対 する支援の拡充により、猟友会入会のイ ンセンティブを高めることで若年層を中 心とした捕獲の担い手の確保・育成を進 めた。(会員数262人のうち新規入会者49 人) |
| | 22 | 農林水産整 備課 | (農業用施設等維持管 理費) 機械借上げ支援・原材 料支給 | 全域 | 3,107 | 3,051 | ○地域住民が自ら行う農業農村整備事 業に使用する機械借上げの一部支援や 原材料の一部支給を行う。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○農道、水路等の農業用施設の維持管 理に要する経費の一部を支給すること で、地域の共同作業を支援し、地域資源 の適切な保全管理を推進することができ た。 (原材料) 砕石、生コンクリート、コンクリート二 次製品、管類、木杭ほか一式 (機械) 農業用施設の整備一式 |
| | 23 | 農林水産整 備課 | (農業用施設等維持管 理費) 多面的機能支払補助金 【再掲】 | 全域 | 901,137 | 900,594 | ○農業・農村が有する多面的機能の維 持・発揮を図るため、地域が共同で取り 組む水路、農道等の保全活動を支援す る。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○多面的機能支払補助金の交付により、 水路や農道等の維持や農業用施設の 長寿命化など地域が共同で保全活動に 取り組むことにより、農地の多面的機能 を発揮することができた。 ・組織数:151 ・対象農用地面積:5,420.28ha |
| | 24 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 飯地区 | 金谷区 | 0 | 0 | ○飯地区において、県営事業として実施 する現地の諸元調査に対して、負担金を 支払う。 ・調査計画 N=一式 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 25 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 東湯地区 | 複数区 | 31,000 | 31,000 | ○大湯区と吉川区にかかると東湯地区の 県営経営体育成基盤整備事業に対し て、負担金を支払う。 ・対象区:大湯区、吉川区 全体計画 ・区画整理 A=35ha ・暗渠排水 A=35ha | ○大湯区と吉川区にかかると東湯地区の 県営経営体育成基盤整備事業に対し て、負担金を支払った。 ・対象区:大湯区、吉川区 令和4年度まで ・区画整理 A=18.5ha |
| | 26 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 吉川区原之町地区 | 吉川区 | 27,396 | 27,396 | ○吉川区原之町地区の県営経営体育 成基盤整備事業に対して、負担金を支 払う。 全体計画 ・区画整理 A=31.7ha ・暗渠排水 A=31.7ha | ○吉川区原之町地区の県営経営体育 成基盤整備事業に対して、負担金を支 出した。 令和4年度まで ・区画整理 A=11.1ha |
| | 27 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 板倉区高野地区 | 板倉区 | 23,700 | 23,700 | ○板倉区高野地区の県営経営体育成 基盤整備事業に対して、負担金を支払 う。 全体計画 ・区画整理 A=81.4ha ・暗渠排水 A=81.2ha | ○板倉区高野地区の県営経営体育成 基盤整備事業に対して、負担金を支払 った。 令和4年度まで ・区画整理 A=81.4ha ・暗渠排水 A=81.2ha |
| | 28 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 清里区岡野町地区 | 清里区 | 9,624 | 9,600 | ○清里区岡野町地区の県営経営体育 成基盤整備事業に対して、負担金を支 払う。 全体計画 ・区画整理 A=43.3ha ・暗渠排水 A=43.3ha | ○清里区岡野町地区の県営経営体育 成基盤整備事業に対して、負担金を支 出した。 令和4年度まで ・区画整理 A=43.3ha ・暗渠排水 A=43.3ha |
| | 29 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 清里区清里第1地区 | 清里区 | 42 | 42 | ○清里区清里第1地区において、県営事 業として実施する現地の諸元調査に対 して、負担金を支払う。 ・調査計画 N=一式 | ○清里区清里第1地区において、県営事 業として実施する現地の諸元調査に対 して、負担金を支払った。 令和4年度まで ・調査計画 N=一式 |
| | 30 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 清里区清里第2地区 | 清里区 | 0 | 0 | ○清里区清里第2地区において、県営事 業として実施する現地の諸元調査に対 して、負担金を支払う。 ・調査計画 一式 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 31 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 清里区清里第3地区 | 清里区 | 0 | 0 | ○清里区清里第3地区において、県営事 業として実施する現地の諸元調査に対 して、負担金を支払う。 ・調査計画 一式 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 32 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) 経営体育成基盤整備事 業 清里区北野地区 | 清里区 | 871 | 870 | ○清里区北野地区において、県営事業 として実施する現地の諸元調査に対 して、負担金の支払い及び換地等調整 業務を実施する。 ・調査計画 N=一式 | ○清里区北野地区において、県営事業 として実施する現地の諸元調査に対 して、負担金を支払った。換地等調整 業務を実施した。 令和4年度まで ・調査計画 N=一式 |
| | 33 | 農林水産整 備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 下馬場池地区 | 金谷区 | 897 | 897 | ○下馬場池地区の県営ため池等整備 事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・堤体工 N=1か所 | ○下馬場池地区の県営ため池等整備 事業に対して、負担金を支払った。 令和4年度まで ・測量・実施設計 |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|---------|--|-----------------------------------|------------|-----------------------|---|--|--|
| 産業の振興 | 34 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 古川地区 | 金谷区 | 120 | 0 | ○古川地区で実施する県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・排水路改修 一式 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 35 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 宇山地区 | 谷浜・ 桑取区 | 11,110 | 10,890 | ○宇山地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・堤体工 N=1か所 | ○宇山地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・堤体工 N=一式 |
| | 36 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 浦川原区山本地区 | 浦川原区 | 1,100 | 1,100 | ○浦川原区山本地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・堤体工 N=1か所 | ○浦川原区山本地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 令和4年度まで ・測量・実施設計 |
| | 37 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 浦川原区飯室地区 | 浦川原区 | 121 | 121 | ○浦川原区飯室地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・堤体工 N=2か所 | ○浦川原区飯室地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・堤体工 N=2か所 |
| | 38 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 牧区棚広地区 | 牧区 | 4,463 | 4,461 | ○牧区棚広地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・用水路工 L=248m | ○牧区棚広地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・用水路工 L=240m |
| | 39 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 吉川区仲伝尻下地区 | 吉川区 | 2,200 | 0 | ○吉川区仲伝尻下地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・ため池豪雨対策 N=1か所 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 40 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 吉川区市之瀬地区 | 吉川区 | 616 | 615 | ○吉川区市之瀬地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・頭首工ゲート N=1か所 | ○吉川区市之瀬地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・頭首工ゲート N=1か所 |
| | 41 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 吉川区大久保地区 | 吉川区 | 4,270 | 4,269 | ○吉川区大久保地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・堤体工 N=1か所 | ○吉川区大久保地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・堤体工 N=一式 |
| | 42 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 中郷区泉溜池地区 | 中郷区 | 110 | 0 | ○中郷区泉溜池地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・堤体工 N=一式 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 43 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 板倉区針地区 | 板倉区 | 130 | 0 | ○板倉区針地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・調整池 N=3か所 ・排水路改修 L=675m | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 44 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) ため池等整備事業 清里区坊ヶ池地区 | 清里区 | 845 | 845 | ○清里区坊ヶ池地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・堤体工 N=一式 | ○清里区坊ヶ池地区の県営ため池等整備事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・測量・実施設計 |
| | 45 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 農地環境整備事業 安塚区梅田地区 | 安塚区 | 1,715 | 1,715 | ○安塚区梅田地区において、県営農地環境整備事業に対して、負担金を支払い及び換地清算金業務を実施する。 全体計画 ・区画整理 A=7.8ha ・用排水施設 N=2か所 ・農道整備 L=757m ・農地保全 A=0.1ha | ○安塚区梅田地区において、県営農地環境整備事業に対して、負担金を支出し、換地清算金業務を実施した。 令和4年度まで ・区画整理 A=5.9ha ・用排水施設 N=2か所 ・農道整備 L=712m ・農地保全 A=0.1ha |
| | 46 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 農地環境整備事業 大島区上達地区 | 大島区 | 500 | 500 | ○大島区上達地区において、県営事業として実施する農地整備に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・区画整理 A=1.1ha ・用排水施設 L=1,660m ・農道整備 L=1,188m ・農地保全 A=0.1ha | ○大島区上達地区において、県営事業として実施する農地整備に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・区画整理 A=1.1ha ・用排水施設 L=1,660m ・農道 L=1,188m ・農地保全 A=0.1ha |
| | 47 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 農地環境整備事業 吉川区道之下地区 | 吉川区 | 5,241 | 5,241 | ○吉川区道之下地区において、県営事業として実施する農地整備に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・区画整理 A=16.6ha ・暗渠排水 A=16.4ha ・農地保全 A=0.3ha | ○吉川区道之下地区において、県営事業として実施する農地整備に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・区画整理 A=16.4m ・暗渠排水 A=16.2ha ・農地保全 A=0.3ha |
| 48 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 基幹水利施設ストック マネジメント事業 赤川地区 | 複数区 | 51,053 | 51,053 | ○赤川地区の県営基幹水利施設ストックマネジメント事業に対して、負担金を支払う。 全体計画 ・対象区、柿崎区、吉川区 ・排水路工 L=2,660m | ○赤川地区の県営基幹水利施設ストックマネジメント事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・排水路工 L=1,297.3m | |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|---------|--------------------------------|---------------------------------------|----------|-----------------------|---|--|--|
| 産業の振興 | 49 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) かんがい排水事業 頸城地区 | 複数区 | 7,206 | 6,026 | ○頸城地区の県管かんがい排水事業に対して、負担金を支払う。 ・対象区:浦川原区、頸城地区 全体計画 ・用水施設 N=一式 | ○頸城地区の県管かんがい排水事業に対して、負担金を支出した。 ・対象区:浦川原区、頸城地区 令和4年度まで ・用水施設 N=一式 |
| | 50 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 中山間地域農業農村総合整備事業 東頭北部地区 | 複数区 | 8,255 | 8,255 | ○東頭北部地区の県管中山間地域農業農村総合整備事業に対して、負担金を支払う。 ・対象区:安塚区、浦川原区、大島区 ・用排水施設 L=3,023m ・暗渠排水 A=35.5ha ・排水路工 L=178m | ○東頭北部地区の県管中山間地域農業農村総合整備事業に対して、負担金を支出した。 ・対象区:安塚区、浦川原区、大島区 令和4年度まで ・測量・実施設計 |
| | 51 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 中山間地域農業農村総合整備事業 牧区牧地区 | 牧区 | 5,200 | 5,200 | ○牧区牧地区の県管中山間地域農業農村総合整備事業に対して、負担金を支払う。 ・用排水施設 L=1,516m ・暗渠排水 A=7.4ha ・交流施設 N=1か所 | ○牧区牧地区の県管中山間地域農業農村総合整備事業に対して、負担金を支出した。 令和4年度まで ・測量・実施設計 |
| | 52 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 団体宮調査設計事業 | 複数区 | 2,541 | 2,492 | ○県営土地改良事業の事業採択に向けて、事業実施に必要な調査を行い計画を作成する。 ・対象区:浦川原区、牧区 ・調査設計委託 一式 | ○県営土地改良事業の事業採択に向けて、事業実施に必要な調査を行い計画を作成した。 ・対象区:浦川原区、牧区 ・調査設計委託 一式 |
| | 53 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 団体宮基盤整備促進事業補助金 | 複数区 | 0 | 0 | ○土地改良区等が実施する調査業務に対して、補助金を支払う。 ・対象区:金谷区、清里区 ・調査業務 N=一式 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| | 54 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 農業水路等長寿命化・防災減災事業 | 複数区 | 11,836 | 11,294 | ○農業水利施設のきめ細やかな長寿命化を図るほか、機能低下により災害のおそれが生じている施設の機能を回復させるとともに、被害の未然防止を図る。 ・対象区:浦川原区、中郷区 ・測量設計委託 一式 ・農業用排水路工事 L=84m | ○農業水利施設のきめ細やかな長寿命化を図るほか、機能低下により災害のおそれが生じている施設の機能を回復させるとともに、被害の未然防止を図った。 ・対象区:浦川原区、中郷区 ・測量設計委託 一式 ・農業用排水路工事 L=84m |
| | 55 | 農林水産整備課 | (土地改良事業) 県単農業農村整備事業 | 複数区 | 16,517 | 16,515 | ○県単事業により生産基盤の整備(用排水・農道の整備、区画整理、暗渠排水、ため池の堤体改修)を実施する。 ・対象区:大島区、中郷区 ・農道舗装 L=600m ・用水路護岸修繕 L=4.9m | ○県単事業により生産基盤の整備(用排水・農道の整備、区画整理、暗渠排水、ため池の堤体改修)を実施した。 ・対象区:大島区、中郷区 ・農道舗装 L=600m ・用水路護岸修繕 L=4.9m |
| | 56 | 農林水産整備課 | (森林保育管理事業) 森林環境税関連対策事業 【再掲】 | 複数区 | 19,763 | 19,319 | ○林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林経営管理制度を活用して、整備が行われていない森林を集約し、森林所有者に代わって経営管理を行う。 ・対象区:大島区、吉川区、中郷区、名立区 | ○森林経営管理事業による吉川区河沢地区の間伐について、実施内容見直しに伴い目標を上回る5.1haを実施したほか、新たに3地区(大島区棚岡、中郷区二本木ほか、名立区名立大町)の経営管理権を取得することができた。 ・対象区:大島区、吉川区、中郷区、名立区 |
| 57 | 農林水産整備課 | (林業振興補助費) 森林整備事業補助金 【再掲】 | 全域 | 6,954 | 6,953 | ○上越市森林整備計画の実現に向けて、より良い森林環境を保全するため、民有林の間伐や作業道整備等に係る経費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○森林整備に対して国及び県と連携して支援したことで、森林所有者の負担軽減が図られ、木材生産を始めとした林業の振興を図ることができた。 ・利用間伐ほか A=34.9ha ・作業道整備 L=4,669m | |

5. 定住の促進

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|----|--------|---|----------|-----------------------|----------------------|--|---|
| 合 計 | | | | | 107,877 | 83,700 | | |
| 定住の促進 | 1 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 地域おこし協力隊を活用した集落支援 | 複数区 | 50,984 | 40,383 | ○地域の活力を高め、安全・安心な暮らしを支えるため、地域おこし協力隊を配置し、隊員による活動を通じて、地域の将来像の実現や課題解決に向けた取組を支援する。 ・対象区:安塚区、牧区、柿崎区、吉川区、板倉区、清里区、中郷区 | ○市内9地区に10名の地域おこし協力隊を配置し、集落ビジョンの実現に向け地域の住民とともに様々な活動を展開した。 |
| | 2 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 特定地域づくり事業協同組合事業 【再掲】 | 清里区 | 8,965 | 6,191 | ○国の特定地域づくり事業協同組合制度を活用して清里区の農業法人等が設立する労働者派遣事業を行う組合に対し、支援を行うことで、年間を通じた仕事と新たな雇用を創出し、地域の担い手を確保する。 | ○清里区の農業法人等が設立した星の清里協同組合の運営を支援するため、派遣職員人件費及び事業協同組合の事務局運営に要する経費の一部を支援した。 |
| | 3 | 多文化共生課 | (移住定住対策事業) 上越市ふるさと暮らし支援センター | 全域 | 8,969 | 6,689 | ○関係機関等と連携した相談対応とあわせて、SNS等を活用した魅力の発信や当市の暮らしを体験できる移住体験ツアー、ふるさとワーキングホリデーを実施する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○市や県等のホームページやSNSを活用し、四季折々の豊かな自然や暮らしの様子、移住を検討する上で必要な支援制度等の情報を継続的に発信した。 ○移住検討者からの相談に関係する部署や団体等と連携して対応したほか、オンラインを活用した個別相談会を開催し、493件の相談対応を行った。 ○移住検討者向けのセミナーをオンラインで2回開催し、子育て環境や上越で趣味を楽しむ様子など具体的な情報を参加者に直接提供したほか、他団体が主催する移住関連セミナーに8回出席し、移住や新規就農を検討する人に当市をPRするとともに相談対応を行った。 ○移住検討者の要望に応じたオーダーメイド型の移住体験ツアー実施に向け募集を行い、申し込みのあった6組10人を受け入れ、先輩移住者や町内会長との交流や市内の案内を行った。 ○ふるさとワーキングホリデーについて、これまでに参加者の受入意向を示されたことのある事業所に対し、受入れについて意向を確認してきたが、新型コロナウイルスへの感染による業務の中断や、夏期においては熱中症のリスクが高い作業であるとの理由から、受入れの意向を示す事業所はなく、事業実施には至っていない。 |
| | 4 | 多文化共生課 | (移住定住対策事業) 移住定住応援家賃補助金 | 全域 | 2,760 | 1,942 | ○若者や子育て世代の当市への移住定住を応援するため、市外から移住し市内に主たる事務所を設けた個人事業主等、又は市外から移住した就労者の賃貸住宅の家賃の一部を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○当市への移住を後押しするため、市外から移住し市内に主たる事務所を設けた個人事業主等、及び市外から移住した就労者に対し、賃貸住宅の家賃の一部を支援した。 ・個人事業主等:6件 ・就労者:6件 |
| | 5 | 多文化共生課 | (移住定住対策事業) 移住定住応援住宅取得費補助金 | 全域 | 20,700 | 15,500 | ○若者や子育て世代の当市への移住定住を応援するため、市外から移住し市内で住宅を取得した人の住宅取得費の一部を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○当市への移住を後押しするため、市外から上越市に移住し市内で住宅を取得した人に対し、住宅取得費の一部を支援した。 ・新築:25件 ・建売住宅購入:3件 ・中古住宅購入:7件 |
| | 6 | 農政課 | (担い手育成確保支援事業) 新規就農者等定住転入促進事業 【再掲】 | 全域 | 9,673 | 7,333 | ○次代の農業を担う人材の確保と育成を図るため、新規就農希望者の「おためし農業体験」への参加経費や、新規就農者の資格取得費、機械購入経費、空き家リフォーム費用等を支援するほか、年齢が国の補助対象外となる新規就農者を雇用した農業法人等や、新規就農者の受入れに向けて、地域を挙げたサポート体制づくりに取り組む団体を支援する。 ○新規就農先として当市が選ばれるよう、農業求人サイトを活用し、「上越市の農業」の魅力をPRするとともに、農業施策だけでなく、子育て施策など当市での生活や暮らしに関する情報発信を行う。 ○国県の支援制度の対象外である50歳以上66歳未満の新規就業者を新たに雇用する中山間地域の農業法人等に対して、最長4年間(単年当たり最大600千円)、雇用に必要な経費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○次代の農業を担う人材の確保と育成を図るため、おためし農業体験や新規就農者への支援を行った。 ・農業用機械購入費補助:4件 ・農業法人雇用支援事業:4件 ・おためし農業体験 交通費補助:17件 宿泊費補助:18件 ・大型特殊免許等取得費補助:3件 ・住居費補助:3件 ○農業求人サイトを活用し、上越の農業等のPRを行い、広く周知を図った。 |
| | 7 | 建築住宅課 | (空き家等管理促進事業) 空き家定住促進利活用補助金 | 全域 | 3,609 | 3,609 | ○市外からの移住に伴い購入した空き家のリフォームに要する費用の一部を補助する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○空き家の有効活用及び移住定住の促進に向け、空き家のリフォームを支援した。 ・交付件数:7件 合併前上越市:2件 柿崎区:2件 頸城区:1件 中郷区:2件 |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|----|-------|--|----------|-----------------------|----------------------|---|---|
| 定住の促進 | 8 | 建築住宅課 | (空き家等管理促進事業) 定住促進生家等利活用 補助金 | 全域 | 2,117 | 2,053 | ○自分の生家等又は親の生家等に、市 外から移住又は市内転居する際に行うリ フォームに要する費用の一部を補助す る。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○空き家の発生防止や有効活用及び移 住定住の促進に向け、生家等のリフォー ムを支援した。 ・交付件数:4件 合併前上越市:3件 大島区:1件 |
| | 9 | 建築住宅課 | (空き家等管理促進事業) 空き家活用のための家 財道具等処分費補助金 | 全域 | 100 | 0 | ○上越市空き家情報バンクに登録して ある空き家の所有者又は購入者(県外か らの移住者に限る)が行う家財道具等の 処分に要する費用の一部を補助する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○広報上越や制度チラシを通じて事業 の周知を行ったが、申請はなかった。 |

6. 地域間交流の推進

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-----------|----|---------|--|----------|-----------------------|----------------------|---|---|
| 合 計 | | | | | 755,233 | 712,950 | | |
| 交通通信体系の整備 | 1 | 交通政策課 | (並行在来線対策事業) 在来鉄道の利用促進など 【再掲】 | 全域 | 73,718 | 73,520 | ○地域鉄道の安全・安定輸送を維持するため、えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社の経営安定化に向け支援する。 ○地域鉄道の安全安心な運行を維持するため、エネルギー価格高騰による影響を受けているえちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社に対し、県及び沿線自治体と協働して支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○地域鉄道の安全・安定輸送を維持するため、えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社の経営安定化に向け支援した。 ○地域鉄道の安全安心な運行を維持するため、エネルギー価格高騰による影響を受けているえちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社に対し、県及び沿線自治体と協働して支援した。 |
| | 2 | 交通政策課 | (地域公共交通運行対策費) コミュニティバス事業 【再掲】 | 複数区 | 25,804 | 21,431 | ○市営バス路線の待合所等の維持管理や清里区市営バスの運行業務を行う。 ・対象区:安塚区、大島区、牧区、頸城区、板倉区、清里区、名立区 ・待合所数:安塚区1か所、頸城区1か所、名立区10か所 ○住民団体が主体となった互助による輸送の取組に対して支援を行う。 ・対象区:金谷区、柿崎区、三和区 ○デマンド交通システムを活用した予約型コミュニティバスの実証運行を行う。 ・対象区:安塚区、牧区 | ○市営バス路線の待合所等の維持管理や清里区市営バスの運行業務を行った。 ・対象区:安塚区、大島区、牧区、頸城区、板倉区、清里区、名立区 ・待合所数:安塚区1か所、頸城区1か所、名立区10か所 ○住民団体が主体となった互助による輸送の取組に対して支援を行った。 ・対象区:金谷区、三和区 ※柿崎区の取組について、年度中の実施を目指したが、準備に時間を要することから、実施時期が延期となった。 ○デマンド交通システムを活用した予約型コミュニティバスの実証運行を行った。 ・対象区:安塚区、牧区 |
| | 3 | 交通政策課 | (地域公共交通運行対策費) バス運行対策費補助金 【再掲】 | 全域 | 421,091 | 409,337 | ○市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーについて、前期70系統、後期65系統の運行を維持・確保するため、バス及びタクシー事業者に補助金を交付する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーについて、前期70系統、後期65系統の運行を維持・確保するため、バス及びタクシー事業者に補助金を交付した。 |
| | 4 | 交通政策課 | (鉄道駅舎等管理運営費) 鉄道駅舎等管理運営費(浦川原区) 【再掲】 | 浦川原区 | 3,839 | 3,804 | ○ほくほく線のうらがわら駅及び虫川大杉駅における駅待合所等関連施設を維持管理する。 | ○ほくほく線のうらがわら駅及び虫川大杉駅における駅待合所等関連施設を維持管理した。 |
| | 5 | 交通政策課 | (鉄道駅舎等管理運営費) 鉄道駅舎等管理運営費(大島区) 【再掲】 | 大島区 | 31,569 | 31,423 | ○ほくほく線のほくほく大島駅における駅待合所等関連施設の維持管理、昇降機設備の更新を行う。 | ○ほくほく線のほくほく大島駅における駅待合所等関連施設の維持管理、昇降機設備の更新を行った。 |
| | 6 | 地域医療推進課 | (地域バス運行事業) 地域バス運行事業 【再掲】 | 吉川区 | 4,106 | 3,797 | ○吉川区川谷地区住民の通院を支援して、医療不安の軽減を図るとともに、スクールバス等の利用が困難な地域における児童生徒の通学手段を確保する。 | ○吉川区川谷地区住民の通院を支援して、医療不安の軽減を図るとともに、スクールバス等の利用が困難な地域における児童生徒の通学手段を確保した。 |
| | 7 | 地域医療推進課 | (中ノ俣診療所管理運営費) 市街地への通院支援 【再掲】 | 金谷区 | 3,723 | 2,464 | ○中ノ俣・上綱子地区における地域住民の医療不安を軽減するため、毎週火曜日と金曜日に市内の医療機関への通院を支援する。 | ○中ノ俣・上綱子地区における地域住民の医療不安を軽減するため、毎週火曜日と金曜日に市内の医療機関への通院を支援した。 |
| | 8 | 学校教育課 | (スクールバス等運行事業) スクールバス等運行事業 【再掲】 | 複数区 | 130,834 | 113,868 | ○児童生徒の通学支援のため、スクールバス等を運行し、遠距離通学する児童生徒の安全確保と通学の負担の解消を図る。 ・対象区:谷浜・桑取区、安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、名立区 | ○遠距離通学や風雪等で通学が困難となる児童生徒に対し、スクールバスを運行し、児童生徒の安全確保と通学の負担軽減を図った。 ・利用児童数:578人(うち冬期のみ50人) ・利用生徒数:224人(うち冬期のみ47人) |
| | 9 | 学校教育課 | (小学校通学援助費) 小学校通学援助費 【再掲】 | 全域 | 18,560 | 16,589 | ○遠距離通学する児童の通学費を助成し、通学における安全の確保と保護者の負担軽減を図る。 ○特別支援学校及び市立小学校の特別支援学級に通学している児童の通学費を助成する。 ○市立小学校の児童のうち、教育的な配慮により校区外通学をしている児童の通学費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○遠距離通学する児童、山間地等で起伏が激しいなど、通学における負担の大きい地域の児童、教育的配慮により校区外通学している児童や特別な支援が必要な児童を対象に、補助金や定期券の交付によって通学費を助成し、通学時における安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図った。 ・助成人数:928人 |
| | 10 | 学校教育課 | (中学校通学援助費) 中学校通学援助費 【再掲】 | 全域 | 24,130 | 20,929 | ○遠距離通学する生徒の通学費を助成し、通学における安全の確保と保護者の負担軽減を図る。 ○特別支援学校及び市立中学校の特別支援学級に通学している生徒の通学費を助成する。 ○市立中学校の生徒のうち、教育的な配慮により校区外通学をしている生徒の通学費を助成する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○遠距離通学する生徒、山間地等で起伏が激しいなど、通学における負担の大きい地域の生徒、教育的配慮により校区外通学している生徒や特別な支援が必要な生徒を対象に、補助金や定期券の交付によって通学費を助成し、通学時における安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図った。 ・助成人数:604人 |

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|---------|----|---------|-------------------------------------|----------|-----------------------|----------------------|---|---|
| 交流人口の拡大 | 1 | 観光振興課 | (観光企画費) 灯の回廊事業 | 複数区 | 4,994 | 3,928 | ○四季の中で上越市への来訪者が少ない冬の誘客促進につなげるため、各区の雪灯りイベントをつなぎ合わせた一体的なPRを行い、冬の一大イベントにふさわしい規模となるよう、市内外に広く宣伝・PRする。 ・対象区:安塚区、浦川原区、大島区、牧区、名立区 | ○上越市の冬の一大イベントとして、安塚区、浦川原区、大島区、牧区及び名立区の雪灯りイベントをつなぎ合わせた一体的なPRを行った。 ○例年に比べ少雪だったため、各会場では沿道の雪壁が途切れる区間もあったが、雪灯籠やキャンドルを入れたペットボトルを設置するなど少ない雪の中でも各地域が工夫して会場を設けて開催した。 ・「灯の回廊」入込客数:14,380人 |
| | 2 | 観光振興課 | (観光企画費) 信越トレイル利用促進事業 | 複数区 | 89 | 20 | ○豊かな自然や文化・歴史が色濃く残る信越トレイルコースを活用し、市内への誘客を促すため、イベントやPRを行う。 ・対象区:安塚区、大島区、牧区、板倉区、清里区 | ○信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、イベントを開催したほか、市ホームページやパンフレットを設置するなどPRを行った。 ・市内イベント入込者数:146人 ・信越トレイル利用者数(市内):2,817人 |
| | 3 | 観光振興課 | (越後田舎体験推進事業) 田舎体験推進事業 | 全域 | 2,629 | 2,562 | ○海・山・大地の豊かな自然や農山漁村の地域資源、人々の暮らしを生かした体験型観光を推進し、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○越後田舎体験協議会に負担金を支出し、越後田舎体験事業の推進や交流人口の拡大に努めた。 ○学校団体等へものづくり体験や農業体験のほか探究学習を活用した新たな体験プログラムでの受入れを行うなど、様々な体験を提供した。 ・受入実績:40団体、2,813人、4,546人泊(上越、十日町地域) |
| | 4 | 農村振興課 | (農産物販売促進事業) 都市生協との連携事業【再掲】 | 複数区 | 1,126 | 691 | ○産地の知名度向上と信頼性を確保し、当市の安全・安心な農産物の販売促進を図るため、都市生協組合員と生産者との顔の見える関係を維持できるようオンラインを含めた産地交流事業を実施する。 ・対象区:谷浜・桑取区、吉川区、名立区 | ○新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から中止していた産地交流事業について、感染症対策を実施しながら、9月から再開したほか、東京へ出向いて行う交流事業についても、棚田米の生産者を講師として棚田米の栽培方法等についての学習会を開催した。 ・参加者数:20組、43人 ○よしかわ杜氏の郷や生産者と都市生協組合員との「オンライン交流会」を3回開催し、日本酒の味比べセットや棚田米など都市生協で取り扱っている当市の商品について、画像を用いて商品の情報や生産現場の四季の風景や作業の様子などを参加者に紹介し、顔の見える関係を維持することができた。 ・参加者数:35組、42人 |
| | 5 | 農林水産整備課 | (林業総務費) 森林空間を活用した、中山間地域の魅力再発見事業 | 全域 | 24 | 24 | ○中山間地域でのなりわいの創出や定住を目指し、森林の魅力や森林資源活用の可能性を伝えるため、森林や中山間地域に興味を持つ市内外の人を対象に、森林の多面的機能を学習する里山セミナーや、森林の地域資源の活用方法について学ぶ森林学習会を開催する。 ・里山セミナー ・森林学習会 | ○里山シンポジウムや魅力発見ツアーを通じ、里山の魅力を伝えたことで、森林の多面的機能や地域資源の活用方法について理解を深めてもらうことができた。 ・里山シンポジウムの開催 開催日:令和4年10月22日(土) ・里山の魅力発見ツアーの開催 開催日:令和4年10月23日(日) |
| | 6 | スポーツ推進課 | (一般スポーツ活動推進事業) えちご・くびき野100kmマラソン | 全域 | 8,997 | 8,563 | ○中山間地域での多様な地域間交流を促進するとともに、大会PRの機会を捉え、市内外に中山間地域の魅力等を広く宣伝するため、第14回えちご・くびき野100kmマラソンを開催する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○第14回えちご・くびき野100kmマラソンを開催した。大会当日は、地域のボランティアがランナーに対し、エイドやレストで地域独自のおもてなしを行い、中山間地域の魅力発信やランナーとの交流につながった。 ・申込者数:1,863人 ・ボランティア人数:3,331人 |

7. 自主的取組への支援

| 区分 | No | 担当課 | (事業名) 個別事業名 | 施行 区域 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) | 事業概要(事業内容、対象等) | 事業成果(事業量など) |
|-------|----|-----------------------|--|----------|-----------------------|----------------------|--|--|
| 合 計 | | | | | 253,713 | 234,137 | | |
| 集落対策 | 1 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 地域おこし協力隊を活用した集落支援 【再掲】 | 複数区 | 50,984 | 40,383 | ○地域の活力を高め、安全・安心な暮らしを支えるため、地域おこし協力隊を配置し、隊員による活動を通じて、地域の将来像の実現や課題解決に向けた取組を支援する。 ・対象区:安塚区、牧区、柿崎区、吉川区、板倉区、清里区、中郷区 | ○市内9地区に10名の地域おこし協力隊を配置し、集落ビジョンの実現に向け地域の住民とともに様々な活動を展開した。 |
| | 2 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 集落づくり推進員を活用した集落支援 | 全域 | 26,933 | 24,249 | ○集落づくり推進員を配置し、集落の巡回や集落の将来像を考える話合いの働き掛けを行うとともに、話合い等により把握した課題の解決に向けた支援を行う。 | ○高齢化が進んでいる191集落を9人体制で担当し、集落の実態を把握し、各区総合事務所で情報共有・課題対応を行った。 |
| | 3 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) ふるさと支え合い等推進事業補助金 | 全域 | 750 | 250 | ○集落づくり推進員及び集落支援担当者の支援を得て、集落等の維持・活性化について住民自らが話し合い、集落出身者等と連携してその実現に向けた活動等に主体的に取り組む集落を支援する。 | ○板倉区の孤立町内会において、集落出身者と町内住民が連携し、主体的な活動に取り組んだことで、集落出身者と町内住民との連帯感が生まれた。 |
| | 4 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 中山間地域支え隊事業 【再掲】 | 全域 | 378 | 61 | ○企業や団体、個人に対して労力提供ボランティア活動と呼び掛け、地域貢献活動を通じて集落・地区において不足する労力を補完するとともに、市民全体で中山間地域の公益的機能を支えていく意識を醸成する。 | ○集落からの協力要請に応じて、草刈りや側溝清掃等の作業やイベント準備などに合計53回、延べ84団体・232人から参加していただいた。 |
| | 5 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 地域支え合い体制づくり事業補助金(体制構築支援) | 全域 | 50 | 0 | ○中山間地域の高齢化率が50%以上の集落における労力不足を補完するため、地域の住民組織やNPO等が行う要支援者を対象とした除雪等ボランティアの派遣事業を支援する。 | ○住民組織からの活用希望がなかったため、令和4年度の執行実績なし。 |
| | 6 | 地域政策課 | (中山間地域振興事業) 緊急除排雪支援 | 全域 | 3 | 0 | ○中山間地域に暮らす住民の安全・安心を確保するため、災害救助法適用時に、既存の支援策の活用によってもなお自力による除雪が困難で、生命や財産に危害が及ぶ恐れがある集落に対し、総合事務所の判断により緊急避難的に除雪作業員の派遣や重機の貸与を行う。 | ○令和4年度の執行実績なし。 |
| 地域づくり | 1 | 地域政策課 | (地域活動支援事業) 地域活動支援事業 | 全域 | 149,585 | 146,123 | ○令和5年度から段階的な実施を予定している「地域独自の予算」までの経過措置として、令和4年度はこれまでと同様に地域活動資金を28の地域自治体に配分し、地域住民の自発的・主体的な取組を支援する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○各区において説明会の開催や募集内容を掲載した地域協議会だよりの配布を行うとともに、過去の実施事業をまとめた事例集を公表することで制度周知を図ったところ、266件の事業提案があり、259件が採択された。事業を通じて、地域の課題解決や活力向上に寄与した。 |
| | 2 | 地域政策課 | (市民活動推進事業) 地域コミュニティ活動サポート事業 | 全域 | 159 | 145 | ○町内会等が抱える課題の解決や地域の活性化に向けた話合いを支援するため、地域づくりアドバイザーを派遣する。 ※予算は市全域に係る予算額 | ○課題解決に向けた話合いの手法を学ぶ機会を希望する2つの団体に対して、地域づくりアドバイザーを計3回派遣し、地域における話合いを円滑に進めることができた。 |
| | 3 | 農村振興課 (中山間地域農業対策室) | (中山間地域等活性化対策事業) 棚田地域振興事業 【再掲】 | 全域 | 691 | 452 | ○棚田地域振興法に基づく地域振興活動を促進するため、引き続き、地域自らが活動を計画・実施・進捗管理できる体制整備を支援するほか、新たに「棚田マップ」を作成し、既存の「棚田カード」とともに、棚田地域の情報や魅力等を積極的に発信して来訪者との交流機会の創出を図る。 | ○市内15の地区協議会の活動状況を確認し、活動計画の目標達成に向けて助言等を行った。 ○棚田地域振興活動の新規取組や取組範囲拡大の意向がある2地域に対し、地区協議会の設立や棚田地域振興活動計画の作成・変更などを支援した。 ○市内の棚田までの経路や、棚田地域の取組・見どころ、棚田カードの配布場所を記載した「棚田マップ」を新たに作成するとともに、各地域の活動状況や棚田の風景など、四季折々の情報を市ホームページに掲載した。 |
| | 4 | 社会教育課 | (公民館事業) 公民館主事の配置 | 全域 | 24,180 | 22,474 | ○地区公民館に公民館主事を配置することにより、地域の課題やニーズを踏まえた公民館事業を実施するとともに、地域住民が主体的に活動できるよう支援する。 | ○各地区公民館において、地域の課題やニーズなどを踏まえた公民館事業154事業を実施し、11,821人が参加した。 |

| 区分 | 令和4年度 予算現額 (千円) | 令和4年度 決算額 (千円) |
|----|-----------------------|----------------------|
| 総計 | 3,448,838 | 3,260,946 |

※ 重複する事業は除く